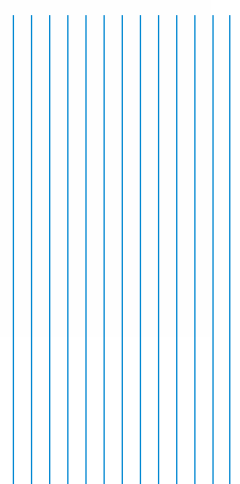




NO.42
2010.9



社団法人 **岡山県産業廃棄物協会**

◆年頭にあたって◆

(社)岡山県産業廃棄物協会第17回通常総会開催	1
(社)岡山県産業廃棄物協会青年部会第11回通常総会開催	6
(社)全国産業廃棄物連合会第26回通常総会開催	7
岩元博氏が全産連功労者として表彰	8

◆特集◆

「産業廃棄物収集運搬業社内管理体制構築のすすめ」のご案内	9
------------------------------	---

◆行政ニュース◆

産業廃棄物相談窓口のご案内	10
〈岡山県からのお知らせ〉温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度について	11
〈岡山県からのお知らせ〉廃棄物処理法の改正について	13
〈岡山県からのお知らせ〉PCB廃棄物の適正処理の推進について	14
〈補助制度（岡山県）のお知らせ〉微量PCB混入電気機器分析支援	15

〈世界見聞録25〉天山山脈西北最深部探索 I 倉敷芸術科学大学 河邊 誠一郎	17
--	----

◆支部ニュース◆

〈岡山東支部〉第17回支部総会を開催	21
〈倉敷支部〉生活空間そのものの環境保全!?	22
〈倉敷南支部〉環境クリーン作戦を実施	23
〈井笠支部〉研修旅行実施	24
趣味の会 第19回ゴルフコンペ開催	25

◆協会だより◆

平成22年度中国地域協議会の総会	26
平成22年度許可申請に関する講習会予定表（近県抜粋）	28

◆事務局だより◆

協会への入会勧誘のお願い	31
新規入会正会員紹介	32

◆青年部会のページ◆

全国青年部中国ブロック第7回通常総会	33
環境学習活動	34
第5回親子エコツアー	35
CO ₂ マイナスプロジェクト	37
表紙カラーガイド/編集後記	38

当協会第17回通常総会開催

5月20日(木)午後2時から、社団法人岡山県産業廃棄物協会の第17回通常総会が、会員383名(うち委任状273名)の出席を得、関係各方面からのご来賓をお迎えして盛大に開催されました。

内田工業(株)内田篤志氏の司会によって始まった総会は、藏本会長挨拶(別掲)の後、恒例の表彰式が行われました。これは、永年に渡って産業廃棄物処理業務に取り組まれ、その功績が顕著だと認められた個人または事業所を会長が表彰するもので、今年度は下の表に掲げる8名の方と6事業所が受賞されました。

おめでとうございます。受賞者を代表して、

平成22年度 会長表彰受賞者

◎功労者(当協会の運営に功績顕著な者)

堀川英輔(栄光テクノ(株))

◎優良事業所(産業廃棄物処理業の模範となり、当協会の運営に功績のあった企業)

ナカウン株式会社

有限会社片岡久工務店

タマタイ産業株式会社

有限会社技建産業

内田工業株式会社

株式会社ジェイピー有価物回収

◎優良従事者(産業廃棄物処理業に従事する成績優秀な者)

筒井芳典(有りサイクルセンター平島)

藤井孝行(備前鋼業(有))

遠部美千子(山陽工業(有))

大賀卓(タマタイ産業(株))

本郷道男(山陽美業(株))

片岡秀幸(株)高谷建設

妹尾勝視(エコシステム山陽(株))



受賞者代表謝辞(大塚雅司氏)



県循環課 村木 課長

タマタイ産業(株)の大塚雅司氏が謝辞を述べられました。

続いて、ご来賓の方々よりご祝辞を頂戴いたしました。

議事に入る前に、議長に内海産業(株)・松本俊成氏を、議事録署名人に(株)デベロップ岡山・田口睦青、泉建設(株)・泉正昭の両氏を、それぞれ選出しました。

松本氏が議長席について議事に入り、第1～第5の5つの議案について審議を行いました。

◇第1号議案 平成21年度事業報告の承認について

◇第2号議案 平成21年度収支決算の承認について

1、2号議案は一括上程され、安藤事務局長等



会場全景

の説明の後、監事の横山商事(株)横山万吉氏より適正妥当と認めた旨の監査報告がありました。議長が議場に質疑を促したところ特に異議はなく、満場一致、原案どおり承認可決されました。

◇第3号議案 平成22年度事業計画（案）の承認について

◇第4号議案 平成22年度収支予算（案）の承認について

3、4号議案も一括上程され、安藤事務局長等の説明の後、こちらも異議無く、満場一致で承認可決されました。

◇第5号議案 役員の補充選任について

議長が上程し、安藤事務局長が協会理事の豊田眞爾氏より辞任願が提出され受理されたこと及び同じく理

事の吉田博安氏のご逝去されたことを報告し、豊田眞爾氏の後任理事に同じ支部の横山忠彦氏、また、吉田博安氏の後任理事に同じ支部の吉田栄一氏が理事会から推薦されている旨、提案理由を説明した。



ご来賓席

議長が議場に質疑・意見を求めたが、異議はなく、満場一致で原案どおり承認可決されました。そして、新しく選任された両氏から挨拶がありました。

以上で議案の全てが終了し、議長解任後、岡本靖磨 呂副会長が閉会の辞を述べて、第17回通常総会を終了しました。

この後、(社)岡山県産業廃棄物協会安藤専務理事、松本俊成常任理事が講師となり、講演会が行われました。「収集運搬業社内管理体制構築のすすめ」と題して約1時間30分にわたってお話いただき、参加者一同、熱心に拝聴いたしました。



協会役員席



講演会 右上は講演中の松本俊成氏

社会的使命の自覚と状況の乗り切りを!

(社)岡山県産業廃棄物協会会長 藏本 忠男

社団法人岡山県産業廃棄物協会の第17回通常総会を開催するにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

ご来賓の皆様方には、公務ご多忙の中、ご臨席を賜りまして誠にありがとうございます。

また、会員の皆様方には、多数の方々にご出席をいただきまして、心からお礼を申し上げる次第であります。

さて、一昨年の世界金融危機の影響はいまだに日本の経済環境に大きな影を落としており、私ども産業廃棄物業界においても、経営環境は依然として厳しく、不透明な景気の先行きに大きな不安感を抱いております。一部の業種・業界では徐々に景気回復の傾向が見られるとのことですが、生産調整や工場の閉鎖等により産業廃棄物の排出量は大幅に減少しており、産業廃棄物業界の厳しい状況は当面続くものと思われまます。このような状況の中で、我々産業廃棄物業界が生き残っていくためには一層の努力が必要であります。そのためには循環型社会の構築、低炭素社会そして自然共生社会の実現に向けた大きな潮流の中で、産業廃棄物業界に求められている社会的使命を十分に自覚するとともに、産業廃棄物業界に課せられている責任と課題に正面から向き合いながら、この困難な状況を乗り切っていくことこそが、将来的な発展に最も必要なことだと、改めて思っているところであります。

ところで、当協会は、設立以来、排出事業者や県民から信頼される会員企業の育成を目的とするとともに、廃棄物処理業の原点である廃棄物の適正処理の推進、リサイクルの推進に積極的に取り組むなどの意識改革に努めてきたところであります。また、一方で業界の健全育成や社会的地位の向上に向けた各種の事業に取り組んできたところであります。こうした中、昨年は台風で被災した美作市から、岡山県を介して、当協会に災害廃棄物の処理支援要請があり、当協会会員で構成している処理業協同組合が処理支援活動を展開することにより災害復興に微力ながら貢献するとともに、社会的信頼の向上にも努めることができました。これは関係会員のご努力、ご尽力はもとより、岡山県、岡山市の適切なお指導・ご協力によるものと心からお礼申し上げます。

今年度も会員が一致団結して組織の充実強化を図りながら産業廃棄物の適正処理に努めるとともに、優良施設の視察研修会や環境クリーン作戦などの各種事業を積極的に推進することで、会員の資



質の向上はもとより、産業廃棄物業界の一層の発展と社会的な役割を果たしていくことが重要であると考えています。

また、一方で公益法人制度改革への対応は取り組むべき重要な課題であり、適切に対処できるよう準備作業に取り組んでまいりますので、会員の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、審議に先立ち、当協会の表彰規程に基づきまして、永年にわたり産業廃棄物業務に携わり、その功績が顕著であります方々に対し、ご功績をたたえ、表彰式をさせていただきます。受賞されます方々には、今後益々のご活躍をご期待申し上げます。

最後になりましたが、本日ご臨席のご来賓の方々並びに会員の皆様方のご健勝をお祈りいたしまして、開会のあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。



議案は事業計画や新役員承認

青年部会第11回通常総会が開催

平成22年5月20日（木）、岡山プラザホテルにおいて社団法人岡山県産業廃棄物協会青年部会の第11回通常総会が、例年通り親会総会との同日開催で行われました。

木下部会長の開会挨拶の後、親会の社団法人岡山県産業廃棄物協会蔵本会長よりご祝辞を頂戴いたしました。

【第1号議案 平成21年度事業報告の承認について】、【第2号議案 平成21年度収支決算報告の承認について】、【第3号議案 平成22年度事業計画（案）の承認について】、【第4号議案 平成22年度収支予算（案）の承認について】を滞りなく承認いただき、【第5号議案 役員への退任に伴う補充について】では、監事を務めていた妹尾産業（有）の畑さんが新副会長に就任し、幹事を務めていた（有）片岡久工務店の片岡さんが監事に、そして新たに津山支部エコシステム山陽（株）の栗原さんが幹事となることで承認されました。

去年は10周年記



念事業を無事行い、次の20年に向けてのスタートを切ることができました。本年度は7月9日に行った中国ブロック協議会総会が岡山で行われるということもあり、昨年同様忙しい年度であると同時に毎年恒例事業でもある「親子エコツアー」の実施、小学校への環境学習、各種勉強会や会員相互の交流などを続けていく意向で事業計画が練られました。

また、昨年より親会理事会に青年部がオブザーバー出席させていただいていることもあり、協会全体の動きを把握しながら親会との連携を深めていき、これからも産業廃棄物の適正処理と再生資源の利用促進に関する普及啓発を図り、産業廃棄物に対する意識の向上と協会の発展に寄与していく決意を固めました。



(社)全国産業廃棄物連合会第26回通常総会開催

当協会2氏 2社が受賞

平成22年6月18日（金）、社団法人全国産業廃棄物連合会の第26回通常総会が、環境省ほか関係団体から多数の来賓を迎えて、東京都港区元赤坂の明治記念館で開催されました。当協会からは藏本会長をはじめ役員6名が出席しました。

●総会

國中連合会会長の開会挨拶の後、来賓各位からご挨拶をいただきました。引き続き議事に入り、次の8つの議案につき審議しました。

- ・第1号議案 平成21年度事業報告承認の件
- ・第2号議案 平成21年度決算報告承認の件
- ・第3号議案 平成22年度事業計画案承認の件
- ・第4号議案 平成22年度収支予算案承認の件



- ・第5号議案 任期満了に伴う役員改選の件
- ・第6号議案 公益社団法人への移行認定申請に関する件
- ・第7号議案 定款変更案の停止条件付議に関する件
- ・第8号議案 関連規程案の停止条件付議に関する件

すべての議案が原案どおり可決承認されました。その後、第5号議案によって選任された新役員を代表して、新会長に選任された石井邦夫会長から挨拶があり、平成22年度は、「廃棄物処理



法見直し等への対応」、「公益法人制度改革への対応」等の8項目を重点にしつつ各種の事業に取り組みたいと力強く決意を述べられました。

●表彰式

続いて表彰式に移り、当協会からは次のとおり、2氏と2事業所が受賞されました。

◎功労者

岩元 博（山陽環境開発(株)代表取締役）

◎地方功労者

高谷卓秀（(株)高谷建設会長）

◎優良事業所

エコシステム山陽株式会社（代表取締役 横田一夫）

◎地方優良事業所

株式会社日本資源開発社（代表取締役 林茂樹）

●懇親会

表彰式終了後、懇親会が催され、来賓の国会議員の諸先生、各県の代表者の方々と懇談のひと時を持ちました。

岩元博氏が全産連功労者として表彰

当協会常任理事の岩元博氏は、産業廃棄物処理に関わる永年の活動を認められ、去る6月18日開催の社団法人全国産業廃棄物連合会第26回通常総会において、功労者として連合会会長から表彰されました。

この表彰の受賞者は、全国でも毎年20名前後にとどまっており、岡山県では3年前の重本聖裕氏に続く受賞ということで、誠に喜ばしい限りであります。

岩元氏は昭和52年、産業廃棄物の収集運搬業及び最終処分（管理型）業の許可を取得されて以来、産業廃棄物の適正処理に積極的に取り組まれるとともに、地域の排出事業者や町内会等の方々

26回 通常 総会 社団法人 全国産業廃棄物連合



ご子息の達也氏と表彰式に臨む岩元氏

に対する教育・普及啓発活動にも尽力してされました。

また、当協会の役員として、平成5年6月の社団法人認可設立以来、組織の拡充・強化、各種事業の積極的な推進、会員の資質向上等、協会及び業界全体の発展のために大きな役割を果たしてこられたことは、皆様すでにご承知のとおりであります。

この度の受賞は、岩元氏のこうした産業廃棄物処理に係る長年の活動が中央においても高く評価されたものであります。また、当協会としても誠に光栄なことであり、心からお喜び申し上げるとともに、なお一層のご活躍を期待するものです。

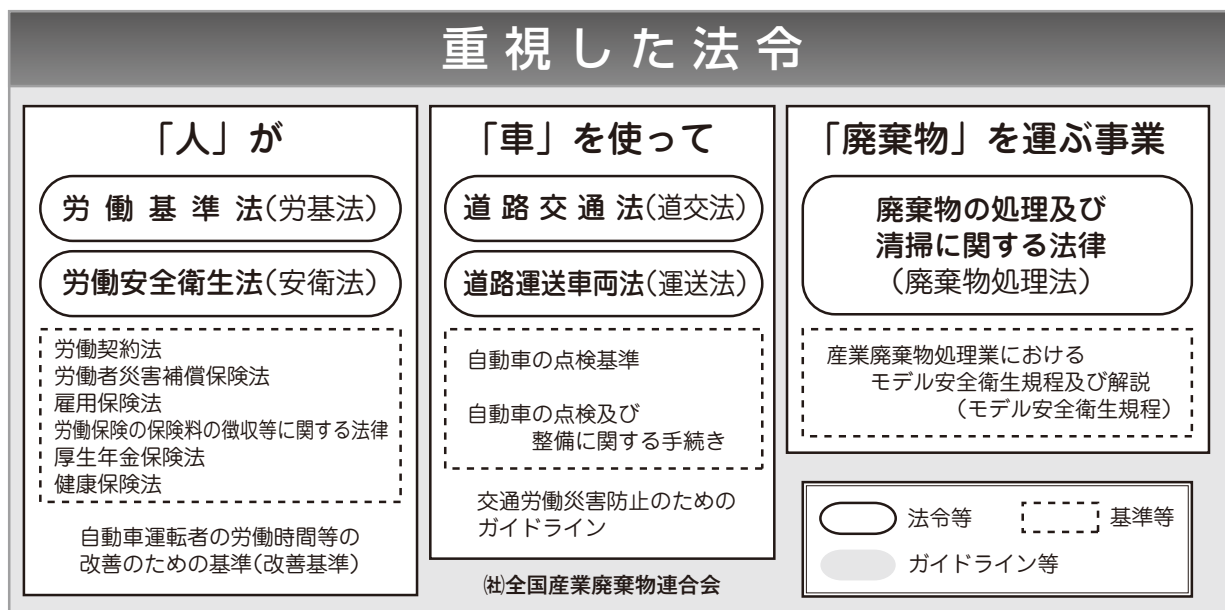


「産業廃棄物収集運搬業 社内管理体制構築のすすめ」のご案内

産業廃棄物収集運搬業が専門性を活かした企業として継続的に発展していくためには、交通事故、労働災害、廃棄物処理法違反など種々のリスクの低減を図りながら健全な企業経営を行う必要があります。そのためには、確固たる社内管理体制を構築して効果的かつ効率的な事業運営が求められています。

この為、(社)全国産業廃棄物連合会では、産業廃棄物収集運搬業界の事業運営の健全化と地位向上に寄与する目的で「産業廃棄物収集運搬業社内管理体制の構築のすすめ」を作成し、平成21年7月に冊子として発刊されました。その内容は、収集運搬業に関連する法令等を「雇用・労働安全衛生など従業員に関する事項」、「交通安全、点検整備など安全運行に関する事項」、「廃棄物の適正処理に関する事項」の3つの観点から収集運搬業に携わるそれぞれの立場の方が理解しやすいように整理されています。

会員企業の皆様におかれましては、本書に記載された内容を確実に実施できるように社内管理体制を構築していただくとともに、専門性の向上や効率化・合理化等により更なる競争力の強化を図り、企業として継続的な発展を目指していただきますようお願いいたします。



なお、「産業廃棄物収集運搬業社内管理体制構築のすすめ」は、(社)全国産業廃棄物連合会のホームページからダウンロードすることができますのでご紹介します。

(入手方法)

- 1 (社)全国産業廃棄物連合会のホームページを開きます。
- 2 メニュー欄の「処理企業の方へ」をクリックします。
- 3 メニュー欄の「処理企業の方へ」中の「業界指針・業界自主基準」をクリックします。
- 4 「産業廃棄物収集運搬業社内管理体制の構築のすすめ」が表示されますので、本文、様式をダウンロードすることができます。

産業廃棄物相談窓口のご案内

平成22年度の産業廃棄物相談窓口及び担当者は次のとおりです。

◇岡山県環境文化部 循環型社会推進課 産業廃棄物班

岡山県庁：岡山市北区内山下二丁目4番6号

TEL.086-226-7308（ダイヤルイン）

課長	村木正司	主任	池田和正
参事	石川浩二	主任	北村雅美
総括主幹 (産業廃棄物班長)	高橋和宏	技師	豊福聡史
主幹	坪井俊隆	技師	藤沢 齐

◇県下各県民局

局名	担当課	TEL	課長	総括参事・ 総括副参事 (班長)	担当者
備前県民局	環境課 (廃棄物対策班)	086-233-9805	稲村 義博	白髪 輝夫	國府、上川、倉本、井戸、 竹本、梶浦
備中県民局	環境課 (廃棄物対策班)	086-434-7007	市田 友宣	二階堂日出伸	木村、下野間、河辺、中山、 下宮、芝、熊本
美作県民局	環境課 (廃棄物対策班)	0868-23-1243	木村 宗正	矢部 良正	花田、朝倉、河内、野崎、 川西、西田、飛峪

◇岡山市環境局 産業廃棄物対策課

岡山市役所：岡山市北区大供1丁目1番1号

TEL.(代表) 086-803-1000（内線3930～3934）

（直通）086-803-1303、1304

FAX.086-803-1737

e-mail sangyouhaikibutsutaisakuka@city.okayama.okayama.jp

課長	山地 由記				
課長補佐	鳴瀧 隆三				
(規制係)	(監理係)		(監視係)		
規制係長	後藤 義則	監理係長	根岸 隆志	嘱託員	林 重孝
副主査	菱川 真輔	副主査	長谷井 誠	〃	青山 健輔
副主査	藤原 浩恭	副主査	木村真一朗	〃	四谷 甫
		副主査	藤田 求	〃	石原 正悦
		主任	二宮 俊幸	〃	三浦 基宏
		主任	池田 明弘	〃	内田 正志
				〃	入矢 慧
				〃	渡邊 孝信

◇倉敷市環境リサイクル局

リサイクル推進部

産業廃棄物対策課

倉敷市役所：倉敷市西中新田640

TEL.086-426-3385（直通）

E-mail

iwst@city.kurashiki.okayama.jp

課長	桑木 孝二
課長主幹	二宮 誠
課長補佐	木村 則博
技師	笹川 靖雄
主事	平田 忠
主事	北野 智之
技師	石井 泰之
技師	藤田 智紀

岡山県からの
お知らせ

温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度について

1 制度創設の背景・趣旨

岡山県では、平成14年3月に「岡山県地球温暖化防止行動計画」を策定し、2010年度における県内の温室効果ガス排出量を1990年度比で6.5%削減することを目標に掲げ、普及啓発など、地域での地球温暖化対策を推進してきました。

しかしながら、2006年度における県内の温室効果ガスの排出量推計値は、1990年度に比べ11.5%の増加であり、その約8割を占める製造業を中心とした産業部門からの排出量削減の取組が課題となっています。

これらのことから「岡山県環境への負荷の低減に関する条例」（平成13年岡山県条例第76号）を改正し、県内の製造業者などの温室効果ガス大量排出事業者に対し、温室効果ガス排出削減計画の策定等を義務付け、排出量削減に向けた自主的な取組の推進を目的とした「岡山県温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」を制定しました。

（※）温室効果ガスとは、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン、六ふっ化硫黄の6種類のガスをいいます。（地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第3項）

（表）平成18年度 岡山県の温室効果ガス排出状況

（単位：千トン-CO₂）

区 分		基準年度 H2年度 (1990年度)	H18年度 (2006年度)	基 準 年 度 比 増 減 率	構 成 割 合
二 酸 化 炭 素	産業部門	38,875	42,410	9.1%	76.3%
	製造業	38,413	42,046	9.5%	75.6%
	民生部門	3,959	5,405	36.5%	9.7%
	家庭	1,861	2,365	27.1%	4.3%
	業務その他	2,098	3,041	44.9%	5.5%
	運輸部門	3,815	4,926	29.1%	8.9%
	自動車	3,371	4,393	30.3%	7.9%
	エネルギー転換部門	619	555	-10.3%	1.0%
	廃棄物部門	467	673	44.1%	1.2%
	工業プロセス	864	685	-20.7%	1.2%
計	48,599	54,654	12.5%	98.3%	
メタン	616	411	-33.3%	0.7%	
一酸化二窒素	329	306	-7.0%	0.6%	
代替フロン等	322	219	-32.0%	0.4%	
合計	49,866	55,590	11.5%	100%	
(参考)全国	1,261百万t	1,342百万t	6.4%		

（※）エネルギー転換部門：電気事業者とガス事業者の自家消費

2 制度の概要

岡山県内で、一定量以上のエネルギーを消費するなど温室効果ガスを排出する事業者（特定事業者）に対し、温室効果ガスの排出削減計画や削減実績の知事への報告を義務づけています。

制度がスタートした今年度は、排出量の削減計画が8月末までに報告されました。報告された内容は、今後、県ホームページで公表する予定です。

計画を提出した翌年度からは、計画期間中、毎年度、排出量削減計画の実施状況等を8月末までに提出することと定められています。引き続き、ご協力をよろしくお願いします。



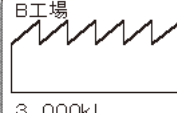
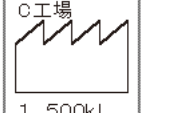
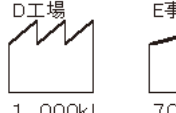
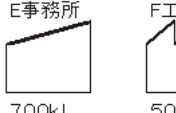
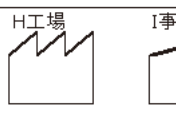
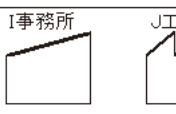



● 対象事業者（特定事業者）

1 工場等

a エネルギー起源二酸化炭素

● 県内の工場等（工場又は事業所その他事業場。車輛燃料を含む）でのエネルギー使用量（原油換算）の合計が、1,500kl/年以上の事業者

＜省エネ法＞

第1種特定事業者	第1種エネルギー管理指定工場等		第2種エネルギー管理指定工場等			+ 300kl  
	A社の岡山県内工場等の合計 7,000kl ≥3,000kl 特定事業者	B工場 3,000kl 	C工場 1,500kl 	D工場 1,000kl 	E事務所 700kl 	
第2種特定事業者	G社の岡山県内工場等の合計 2,400kl ≥1,500kl 特定事業者		H工場 1,000kl  I事務所 700kl  J工場 500kl 			+ 200kl  

※ 鉄道、船舶、航空機については、「県内事業所が管理するエネルギー使用量」分を県内事業所分として判定

（車輛燃料）

b 非エネルギー起源二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン類、六フッ化硫黄

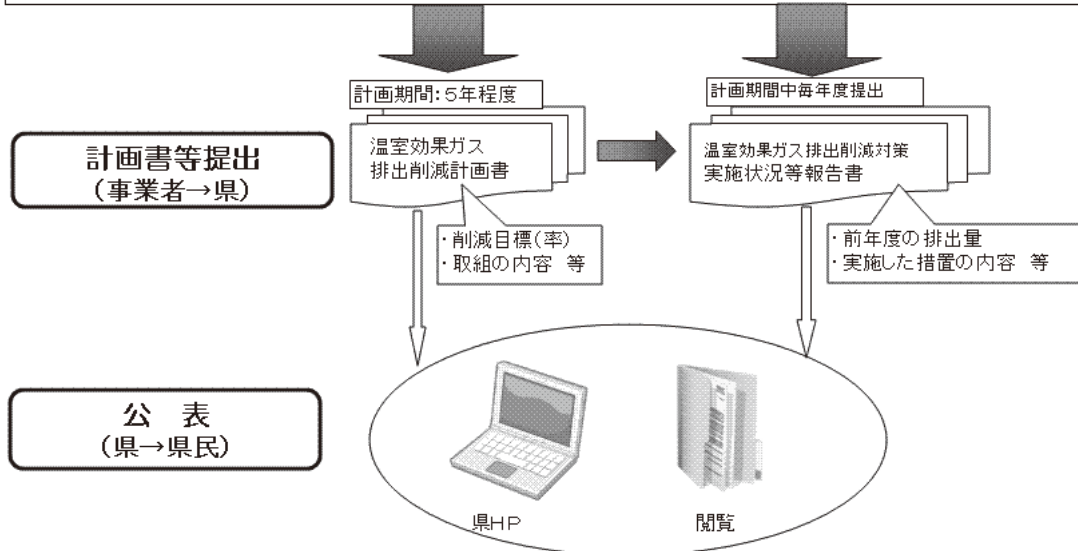
● 従業員（常時雇用者）数が21人以上で、メタン等のいずれかの温室効果ガスの県内の工場等での排出量の合計が、二酸化炭素換算3,000t/年以上の事業者

2 運輸事業者（トラック、バス、タクシー）

● 県内における車両登録台数が、下表の台数以上である事業者

※ 上記(1-a, b)に該当しない場合であっても対象事業者に。

	トラック	バス	タクシー
一般貨物自動車運送事業者 特定貨物自動車運送事業者 自家用貨物自動車		一般乗合旅客自動車運送事業者 一般貸切旅客自動車運送事業者	一般乗用旅客自動車運送事業者
県内登録台数	100台	100台	250台



岡山県からの
お知らせ

廃棄物処理法の改正について

今年5月12日に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部を改正する法律」が国会において成立し、5月19日に公布されました。施行は公布の日から1年以内とされています。この度の法改正の概要は次のとおりですが、今後、政省令の改正が予定されていますので、各方面から発せられる情報に注意してください。

1 廃棄物を排出する事業者による適正な処理を確保するための対策の強化

- (1) 産業廃棄物を事業所の外で保管する際の事前届出制度を創設。
- (2) 建設工事に伴い生ずる廃棄物について、元請業者に処理責任を一元化。
※建設業では元請業者、下請業者、孫請業者等が存在し事業形態が多層化・複雑化しており、個々の廃棄物について誰が処理責任を有するかが不明確。
- (3) 不適正に処理された廃棄物を発見したときの土地所有者等の通報努力義務を規定。
- (4) 従業員等が不法投棄等を行った場合に、当該従業員等の事業主である法人に課される量刑を3億円以下の罰金に引き上げ。 ※現行法では、1億円以下の罰金。

2 廃棄物処理施設の維持管理対策の強化

- (1) 廃棄物処理施設の設置者に対し、都道府県知事による当該施設の定期検査を義務付け。
- (2) 設置許可が取り消され管理者が不在となった最終処分場の適正な維持管理を確保するため、設置許可が取り消された者にその維持管理を義務付ける等の措置を講ずる。

3 廃棄物処理業の優良化の推進等

- (1) 優良な産業廃棄物処理業者を育成するため、事業の実施に関する能力及び実績が一定の要件を満たす産業廃棄物処理業者について、許可の更新期間の特例を創設。
※現行法では、産業廃棄物処理業の許可の期間は一律に5年。
- (2) 廃棄物処理業の許可に係る欠格要件を見直し、廃棄物処理法上特に悪質な場合を除いて、許可の取消しが役員を兼務する他の業者の許可の取消しにつながらないように措置。

4 排出抑制の徹底

多量の産業廃棄物を排出する事業者に対する産業廃棄物の減量等計画の作成・提出義務について、担保措置を創設。

※現行法では作成提出を義務付ける規定はあるがこれを担保する規定はない

5 適正な循環的利用の確保

廃棄物を輸入することができる者として、国内において処理することにつき相当な理由があると認められる国外廃棄物の処分を産業廃棄物処分業者等に委託して行う者を追加。

※現行法では、輸入した廃棄物を自ら処分する者に限定して廃棄物の輸入を認めている。

6 焼却時の熱利用の促進

廃棄物の焼却時に熱回収を行う者が一定の基準に適合するときは都道府県知事の認定を受けるとのことができる制度を創設。

岡山県からの
お知らせ

PCB廃棄物の適正処理の推進について

1 PCB 廃棄物について

PCBは化学的安定性や高い絶縁性などの特性から、かつてトランスやコンデンサの絶縁油などに広く使用されましたが、昭和43年にカネミ油症事件が発生するとその毒性が明らかになり、昭和47年以降PCBの製造は行われていません。

その後PCB廃棄物を処理する体制がなかなか整わず、長期間にわたり事業者による保管が継続していましたが、国が平成15年に「PCB廃棄物処理基本計画」を策定し、日本環境安全事業株式会社（略称：JESCO）を活用して、全国5箇所にPCB処理施設を整備することになりました。

岡山県内の事業所で保管されているPCB廃棄物（後述の微量PCB混入廃電気機器以外）については、JESCO北九州事業所において処理することになっています。昨年度には新たな施設が整備され、トランス、コンデンサに加えて蛍光灯などに使用されていた安定器などのPCB汚染物等の処理も可能になりました。

処理スケジュールは、次のとおりですので、対象となるPCB廃棄物を保管する事業者の方は、速やかにJESCOへの登録手続きをお願いいたします。

年度	22	23	24	25	26	27
多量保管事業場 少量保管事業場	→ 4~5月	→ 10~11月		→ 4~5月	→ 10~11月	

※少量保管事業場：トランス・コンデンサが30台未満で、かつ、PCB汚染物等が1.5t未満

※PCB汚染物等：安定器、10kg未満の小型電気機器、感圧複写紙、ウエス、汚泥等

2 微量PCB混入廃電気機器について

PCBが製造されなくなった後においても、昭和48年から平成元年頃までに製造された電気機器の絶縁油には、非意図的に微量のPCBが混入したものがあります。

ただし、混入の有無については、実際に絶縁油中のPCB濃度を分析しないと判断できないため、岡山県と岡山市は平成23年度までの事業として分析費等の補助を行っています。

詳しくは次のホームページでご確認ください。

岡山県循環型社会推進課：http://www.pref.okayama.jp/soshiki/detail.html?lif_id=50517

岡山市産業廃棄物対策課：http://www.city.okayama.jp/kankyousanpai/sanpai_s00009.html

分析の結果、PCB濃度が0.5mg/kgを超えた場合、保管中のものについてはPCB廃棄物として廃棄物処理法の特別管理産業廃棄物となり、また、PCB特別措置法の適用を受けます。

なお、微量PCB混入廃電気機器は、JESCOでは処理していません。国がPCB無害化処理の認定を行った施設又は都道府県が許可した施設で処理することとなります。平成22年7月現在、「(財)愛媛県廃棄物処理センター」が国内第1号の環境大臣による無害化処理施設の認定を受けて処理を開始しています。今後、全国的に処理体制が整備される予定です。

3 使用中の電気機器について

PCB廃棄物については、PCB特別措置法により、平成28年7月までに処理することとされています。現在使用中の電気機器にPCBが含まれているかどうか早急にご確認いただくとともに、含有することが確認された場合は、計画的な廃止・処理についてご検討ください。

微量PCB混入電気機器分析支援

岡山県においては、次のような微量 PCB 混入電気機器分析支援に関する補助制度が創設されていますので、その補助制度の概要をご紹介します。

なお、岡山市では、別に同様な補助制度が設けられています。詳しくは、岡山市産業廃棄物対策課へお問い合わせください。

「平成22年度岡山県微量PCB混入電気機器分析支援補助金」

1 趣旨

PCB 廃棄物は、PCB 廃棄物特別措置法において、平成 28 年 7 月までの処分が義務づけられておりますが、PCB 廃棄物を処分期間内に確実かつ適正に処分するためには、微量 PCB 混入電気機器であるか否かを把握する必要があります。

そこで、県においては、PCB の混入状況が把握されていない電気機器等の絶縁油中の PCB 濃度を分析する者に対して、その費用の一部を補助する制度が創設されたところです。

2 補助対象者

補助対象者は、次のいずれにも該当する方です。

- ① 絶縁油中の PCB 濃度を分析しなければ PCB 混入の有無を確認できない電気機器等（以下「補助対象機器」という。）を岡山県内（岡山市の区域を除く。以下同じ。）に保有している方
- ② 県税の全項目について滞納がない方

3 補助対象事業

補助金対象事業は、岡山県内に保有している補助対象機器の絶縁油中の PCB 濃度を把握するために分析等を委託する事業です。

4 補助対象経費及び補助額

(1) 補助対象経費は、次に掲げる費用です。

- ① 次に掲げるいずれかの方法による補助対象機器の絶縁油中の PCB 濃度の分析費用（計量法（平成 4 年法律第 51 号）第 107 条第 2 号及び計量法施行令（平成 5 年政令第 329 号）第 28 条第 1 号の規定により都道府県知事の登録を受けた者による分析に係る費用に限る。）
 - ア 特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法（平成 4 年厚生省告示第 192 号）別表第 2 に規定する方法
 - イ 絶縁油中の微量の PCB の測定に活用ができる方法として環境省が示す方法のうち知事が認める方法

- ② 絶縁油中の PCB 濃度の分析のために行う補助対象機器からの絶縁油の採取費用
- ③ 絶縁油中の PCB 濃度の分析のために行う補助対象機器から採取した絶縁油の運搬費用

(2) 補助額

補助率は上記補助対象経費の合計額の 2 分の 1 以内、補助金の上限額は 1 補助対象者当たり各年度につき 500,000 円です。

5 交付申請受付期間

平成 22 年 6 月 1 日（火）から平成 23 年 2 月 28 日（月）までです。
なお、平成 23 年度も実施予定ですが、交付申請受付期間は未定です。

6 補助金交付申請書、実績報告書及び請求書の提出先

岡山県環境文化部循環型社会推進課産業廃棄物班
〒700-8570 岡山市北区内山下二丁目4番6号
TEL 086-226-7308

7 補助金交付申請書、実績報告書及び請求書の提出方法

郵送又は持参に限ります。

8 お問い合わせ先

岡山県環境文化部循環型社会推進課産業廃棄物班
〒700-8570 岡山市北区内山下二丁目4番6号
TEL 086-226-7308

天山山脈西北最深部探索 I

ダイコウアンレイ(大公安令)の探索

倉敷芸術科学大学
河邊誠一郎

3度目は捜索された剛に

この地は未開放地区である！ 日本人が我々に許しもなくここに宿泊する事は認められない！（おまえらはスパイではないのか??）

平成22年6月から7月にかけての2週間、天山山脈の北西端に位置する山岳地帯を歩いた。隊長は大石静岡大学名誉教授。同行の親友大庭とともに、1987年にはヒマラヤ山脈にある未踏峰テラムカンリ山（7,090m）の初登頂も果たしている。その時の眼下に広がっていた新疆ウイグルの自然に魅せられ、以来ズートこの地域の野生果樹（リンゴ、杏、アーモンド・・・）の調査・保護に貢献している。今回は新疆北西部最奥地・カザフスタンとの国境地帯の調査である。

炎天下、乾燥した岩山によじ登り、山脈の奥深くに分け入って調査をし、昆虫・植物の採集を終えて、やっとのことでたどり着いた裕民のホテルには公安が3名待ち構えていた。

早く旅装を解き、汗とホコリを流したい。そんな

思いも空しく、ホテルのロビーに延々と待たされ、ガイドと公安官との長いやり取りが続いた。

初の日本人ご一行様だったらしく、中央政府から



3人1組での監視
こわくて前から撮れなかった



野果林（リンゴ、アンズ、アーモンド）調査

の厳戒指令（時期が悪かった）もあるようでいつまで経っても進展は見られない。

もちろん我々はこの地区周辺への入域・調査許可書は得てはいた。

ウイグルから同行してくれている、旅行社の李さんが必死になって我々の旅の趣旨を説明してくれた。そして求められるままにパスポートを含む関係書類を全て見せ、そのコピーを（街のどこやらで）取って来たりもして、2時間以上もたってやっと部屋に入る許可が出たときにはホットしたものだった。しかし、甘かった。それだけでは済まなかったのだ。

宿泊は許すけれど、全員の所持品を見せること！ それが宿泊許可の条件だった。ともかく、怪しい一団（それ以上に日本人に興味がある？）であると思われることは間違いなかった。

学術調査といっても、何しろ、年寄り名誉教授、

大公安・令状なしの捜索(2度も)…スパイか？
公安車が2台やってきて…(塔城：2度目)



軍人優先(ホテルフロント)

国立科学博物館
名誉研究員に加
えて、会社役員
や女性菌類研究
家、料理研究家
までが(カムフ

ラージュとしてか?) 加わっているのだから。

先方が期待? するような疚しい持ち物はほとんどないはずだが、ひょっとして、ひょっとする。こっそり採集してきた、あのウラル●●か? 国境高山地帯で見つけたあの高根の●●か? 昆虫類は、まだ没収されてもどうってことのない物ばかりだったけれど、採集用具やら、刃物類が過激派の持ち物と間違えられはしないか? 地図類は大丈夫か?

何よりも、最大の危惧品は、記録用に持参していたGPSにあった(これはスパイの必需品。最大の難物である)。やってきた地元公安官の中心は女性である。しかも若くて美人ときている。これはかなり厄介かもしれない? と心配はつのが、幸いにまだまだ口調・物腰も柔らかい。

恐らくそれほど厳しいチェックはないものと我々は踏んだ。

しかし、念のため、危うき品々は部屋の目立たないところにこっそり置いてしまう事にした。GPSは6番目の部屋にいる見目麗しい女性の池ヶ谷さ

ん担当。我々の昆虫・植物採集品、用具はさりげなくカーテンの下に置くなど、日頃の悪知恵の粋をここに結集したのだった。

難物荷蔵

天山の植物の大家(豪華本も数多く出版している)近田は、幸い植物写真と記録が中心である。採取品も、せいぜい確認用の押し葉程度だ。まずここで様子見と時間稼ぎをしてもらうために、1番目の部屋へ。…無事にパス。

各種計画書、許可書(正統な)を所持している隊長の大石が2番部屋。 気になる持ち物は、野果分布記録と写真、そして周辺の地図程度だ。

責任者でもあり、多少の犠牲は止むをえないかと…(しかし、多少気になるものは引き出しに入れたらしい…無事だった)。さすがにここではかなりの時間をかけて、念入りにチェックがあった。とくに、書類、地図、記録ノート類はもの珍しさもあり、念入りだった。

2度目の捜索後、皆の憂かぬ顔 計画変更す!



見て欲しくなかった個人装備と獲物



今も健在 痰壺(裕民のホテル)

3番目は、多少の昆虫採集もした好々爺の鈴木。その人柄、外観からか？難なく通過した。

次は、いよいよ難物満載の河邊の番だ。悪知恵に長けた河邊は、これまでの東南アジア・中国奥地での経験をフルに活かした。女性を含む3人の公安が、次は何が出てくるか？興味津々で入ってきた。ご自分で、荷物の中身をすべて、ベットの上に広げてください。比較的紳士的な物腰だし、自分で中身を拡げるのであれば、何とかかなりそうと考えた。

問題になりそうな、採集用具・根掘りや鋏などの凶器？これらはかさばるため、部屋の片すみへ、というわけにはゆかなかった。そこで、リュックに手を突っ込んだ瞬間、両サイドに片寄せた。そして、おもむろにまず土産用に求めた天山薬草蜂蜜とロイヤルゼリー、そしてミツバチ花粉の大瓶を取り出した。次は、ホータン（和田）で買ったでっかいホータン石（玉ではなくて、単なる薬草粉末用石盤）に巨大氷砂糖だ。着替えの服にホテルでくすねたパンフレット類と洗面用具の数々も

塔剌哈台山脈（タルパカタイ）の向こうはカザフスタン



100%天山蜜蜂ロイヤルゼリー
1kg120元（2000円）：日本では20～30倍に

野果林（リンゴ、アンズ、アーモンド）調査



野果林管理人一家（少数民族）ラクダ、ヒツジの放牧生活

取り出して見せた。そして、決めは自慢の絹のパンツ！あまりのくだらなさ、呆れたのか？失望したのか？それ以上の厳しい追求もなく、早々に次の部屋へ移ってくれた。



天山の薬草花粉 1kg50元



プラスチック王台で大量に作らせたロイヤルゼリー



額敏野生リンゴ保護区で

心配性の大庭が、採集昆虫類で何かボロを出すのではないかと多少気にはなったが、4人を調べた結果くだらない連中だと認識ができていたのか、持参書類の念入りなチェックはあったものの、ここも無事の通過。

次は問題のGPS持参の池ヶ谷の番である。この時点では、まだスパイ嫌疑の恐れまでは、我々の念頭にはなく、他所に隠す暇もなかったため、これはどこか目立たない部屋の片すみにひっそりと置かれた。物腰柔らかで、華奢な女性でもあり、公安官たちとも友好裡に終了したようだった。ここで、河邊のようにパンティーを出さなくて良かった（さらに興味を惹いてしまう?）。

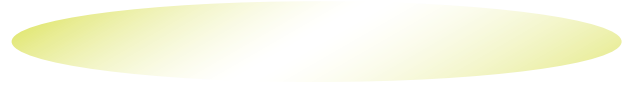
最後は、新疆ウイグルの家庭料理を研究している料理研究家の坂本。

明るく、好奇心・バイタリティーがあり、誰にも好感を持たれるタイプである。しかも、1年間の新疆大学留学の経験もある。中国語もかなり

自由に話すことが出来る。多少の中国語のやり取りがあったのだろう。

公安官にも気に入られたようで、難なく無事終了。

こうして、やっと開放されたのだった（ただしこれは1回目である）。



1992年の1回目の大興案嶺探検以降、中国は経済的には大発展を遂げてきたように見える。海岸沿いの大都市周辺だけでなく、内部境界の地まで、大開発・建築ラッシュの波が広がっている。しかし、あまりに急すぎて、細部にわたる様々なサービス、マナー、生活環境などがまだまだ追いついていない。13億人もいるからか、1党独裁のためか、人権は軽く、中央も地方もその人民政府、公安・警察権力は強大なものがある。

そして、20年前そのままの旧態依然の設備、システム、サービスもまだまだ残っていて、我々を辟易させた。

人口が急増し、生活内容も向上してきているけれど、そのぶん自然開発・破壊もすさまじく、今や中国の自然・資源は急激に衰退しはじめている。

その意味でも、大石らの西域調査フォーラムの意義も大きいのではないかとと思われる旅であった。

永年にわたり、新疆ウイグルを愛し、中国人民のためにこんなに貢献している大石を、近田を、そして我々を、あまり粗末にするなよなー！！



大平原は風の通り道

新疆ウイグルの名花 美人(美男)が多い



砂漠の名花 タマリスク



第17回支部総会を開催 岡山東支部



日 時：平成 22 年 6 月 21 日（月）午後 3 時より
場 所：西大寺グランドホテル

総会・研修会・懇親会の 3 部構成で開催された。
出席者は会員 20 名 協会より藏本会長・安藤事務局長のご出席があり、計 22 名であった。

総会では 21 年度活動報告と収支決算報告がありいずれも承認された。また、22 年度活動計画並びに予算案についても満場一致で承認された。その後、この総会への出席会員が自己紹介を行いすべての議事を終了した。



4 時からは備前県民局環境課の総括副幹事白髪輝夫様より「産業廃棄物処理法の改正について」という演題で講演があった。「廃棄物処理法の改正と廃棄物行政の最近の動向」というレジメに従って講演が進められた。特に廃棄物排出事業者への対策の強化や、廃棄物処理施設の管理につ

いての対策強化が加えられており、大変参考となる内容であった。

その後の懇親会は藏本会長の挨拶の後、木下幹事（青年部部会長）の乾杯発表でスタートした。藏本会長からは(株)日本資源開発社(林 茂樹会長)様が全国産業廃棄物連合会の地方優良事業所表彰を受けられたことが披露された。懇親会は和やかに進み、初めて出席された会員さんとの名刺交換や情報交換が活発に行われ、あっという間の 2 時間が過ぎた。石原幹事の一本締めで当日の予定がすべて終了した。



協会活動は支部活動が支えているという認識の下、今年度も頑張っていくと、出席会員の皆が誓いを新たに致しました。また、当日ご出席頂けなかった支部会員様におかれましても、クリーン作戦をはじめ今年度の支部活動へのご協力をよろしくお願い致します。

（支部長：松本）



生活空間そのものの環境保全!?

倉敷支部研修旅行



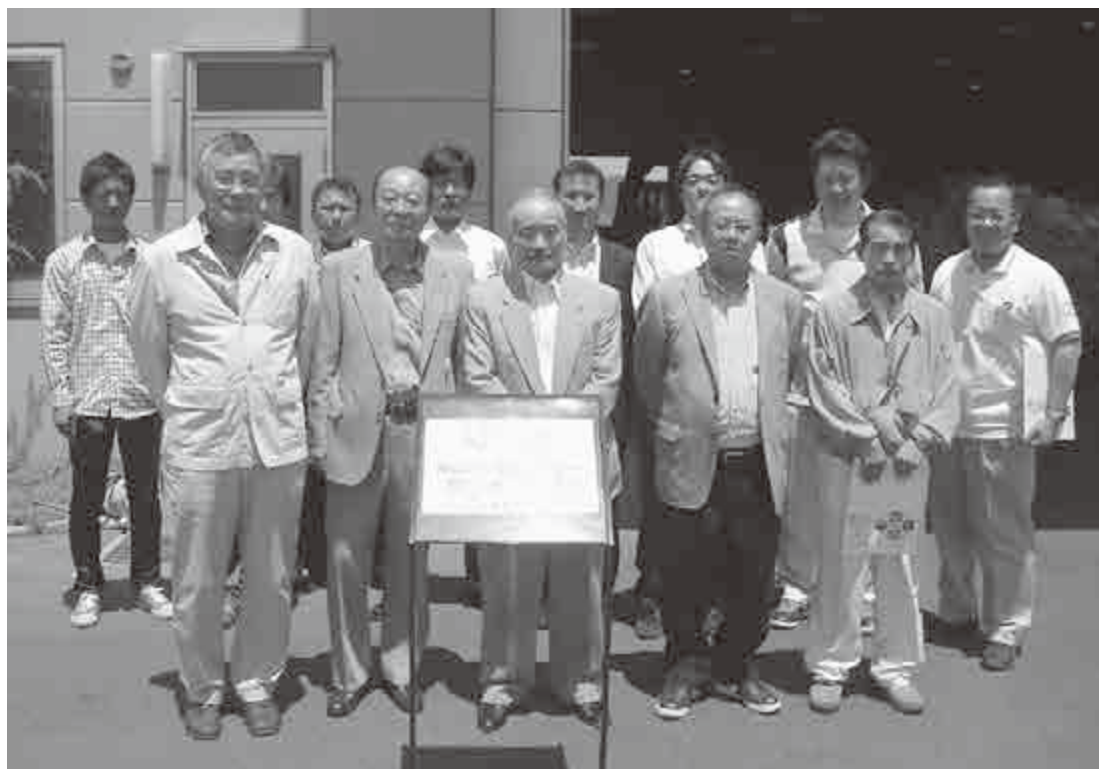
倉敷支部として初の一泊研修旅行を6月4日、5日に山陰方面にて行いました。
当日は午前8時に倉敷駅前をバスにて出発。
幸いにして天気の方は「晴天」で全く傘を持参する必要はありませんでした。
視察先は島根県松江市にあるアースサポート(株)。
同社は社会の発展とともにエコロジー志向が高まるニーズに応え、自社内での産業廃棄物焼却施

設、また総合リサイクル施設などの設備を有し産業廃棄物処理のみならず生活空間そのものの環境保全という新たな業務カテゴリにも進出している企業であります。

到着するとスクリーンでの説明を受けた後、現地施設を丁寧に説明していただけ非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。

また、同社の施設見学受け入れに対し非常に気持ちの良い応対をしていただき驚きました。

施設見学終了後は皆生温泉へと移動し平素の疲れを取り「産廃談義」に深夜まで花が咲きました。



環境クリーン作戦を実施

倉敷南支部

<これまでの経緯>

協会の各支部活動として、もっとも主な事業は環境クリーン作戦であると思います。ですがここ数年来、南支部は実施できていませんでした。私も倉敷南支部長をさせていただきましたので、この事業をなんとか実行したいと思い昨年度、倉敷市役所児島支所市民課や倉敷市児島地区環境衛生協議会と何度も打ち合わせをし、最終協議した結果が下記です。



※協議内容の結果として、

- ・「ゴミ0キャンペーン」を自治会プログラムにも入れており、現在のところ新たに不法投棄が発生しているところもなく、また不法投棄が発覚した所は役所・自治会と協力しただちに撤去しているとの話もありました。地区・12支部の支部長にも確認したが、問題がある場所はないという事でした。
- ・不法投棄がされている場所で残されている場所は、私有地か断崖絶壁のところであり、撤去は危険であり事故・トラブルにつながるため作業を行う事は、好ましくない。

結局、クリーン作戦の延期のご報告を支部の方々へ報告させていただきました。

そこで今年度(平成22年度)は、支部役員の方々とよい方法はないかと協議した結果、新たなクリーン作戦事業として実施できました。

<平成22年度倉敷南支部クリーン作戦>

6月12日(土)に「螢遊の水辺・由加」ホテルまつり開催後の「自然型水路」全長705m、水路に沿って遊歩道近辺のゴミ拾いを地元児島由加「螢遊会」の方々と共に実施し、ゴミの処分を行い環境の美化を保つ。



南支部協会員20名と螢遊会の方35名とで、当日雨にも係わらず、最後は「ありがとうございます」「ありがとうございます」と地元螢遊会の方々とお互い自然に言葉を発しながら、無事終了となりました。

「螢遊の水辺・由加」ホテルについて

この水辺は生息環境の悪化により減少したホテルを復活させようと、国の補助を受けて整備された県内では珍しい石積護岸の水路です。

幅2mの水路に沿って遊歩道があり、肩に止まるくらい間近で多数のゲンジホテルを鑑賞することができます。



井笠支部

研修旅行実施



研修終了後は愛媛県松山市の坂の上の雲ミュージアムを訪れました。

この度の研修旅行は大変見識を広めることが出来、有意義であったと思います。

また、日頃、目先の仕事に追われる毎日ですが、社会経済は休むことなく進んでいる事を痛切に実感した研修であったと思います。

今後とも会員各位のご指導を頂き当協会の事業がより一層前進し、地域社会に

井笠支部では、平成 22 年 5 月 28 日（金）～ 29 日（土）、一泊二日の日程で内子堆肥センター（愛媛県内子町）へ視察研修を実施しました。

堆肥化施設では地域内の有効資源を活かす為、畜糞に家庭から出る生ゴミを加え、更に炭を加えて良質堆肥を生産し、耕種農家の土造り支援と自然環境に調和した高品質の農作物生産に取り組んでいました。

飼料化施設では食品加工残さ（しょう油かすやおからなど）や製材所の端材竹などの生活廃材をペレット化して有効利用していました。

少しでも役立ち貢献出来る活動を推進したいと思います。



次回はエイジシユートで優勝!!

趣味の会 第19回ゴルフコンペ開催

(株)庄司建設 庄司 忠夫



恒例の産廃協会趣味の会、ゴルフコンペで優勝した庄司です。

2010年6月6日(日)に開催!! 6月も入り、当日は雨が降るかと思っていましたが天気も良くコンペが出来て良かったと思います。毎度のこと幹事をして頂いた、遠部社長には感謝しています。自分も幹事をやって大変さがよく分かります。

そんな思いで8時半ごろに現地(御津カントリー)に到着。今回は前回の優勝者の方と回った森社長が一緒でした。自信もなかったのですが朝、冗談で家を出る前に「優勝してくるぞー」と言っ

たことがその通りに! 自分でもびっくりでもありラッキーでした。

今後、元気で続けて出来ることならがんばりたいのですがもう78才に…。でもそんな弱気ではだめだ。80才になろうが90才になろうが参加できるまで頑張ろうと思います。(気持ちだけは30才ですが)参加者全員で一日、楽しいゴルフが出来て幸せでした。

次回も元気で皆様に会えるのを楽しみに。これからもよろしくお願いします。

●第19回ゴルフコンペ成績表(ベスト20)●

順位	競技者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	庄司 忠夫	37	48	85	13.2	71.8
準優勝	中山 忠道	48	41	89	16.8	72.2
3位	藤井 武士	41	45	86	13.2	72.8
4位	遠部 卓志	49	55	104	30.0	74.0
5位	藤田 弘昭	48	47	95	20.4	74.6
6位	森 泉	44	57	101	26.4	74.6
7位	松浦 裕	46	48	94	19.2	74.8
8位	正保 巧	38	42	80	4.8	75.2
9位	山下 興志晴	44	48	92	16.8	75.2
10位	大須賀 富士子	47	44	91	15.6	75.4

順位	競技者名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
11位	平松 敬史	47	43	90	14.4	75.6
12位	林 茂樹	42	46	88	12.0	76.0
13位	田口 睦青	43	43	86	9.6	76.4
14位	井上 實	46	47	93	15.6	77.4
15位	畑 貞夫	44	53	97	19.2	77.8
16位	海野 剛	44	46	90	12.0	78.0
17位	甲元 政利	48	48	96	18.0	78.0
18位	蔵本 忠男	50	47	97	16.8	80.2
19位	武内 正光	46	51	97	16.8	80.2
20位	龍野 邦彦	54	49	103	22.8	80.2

広島市で開催

中国地域協議会総会



平成 22 年度中国地域協議会の総会が、7 月 20 日（火）広島市で開催されました。

その概要は、次のとおりでした。

1 日 時

平成 22 年 7 月 20 日（火） 午後 2 時 30 分から

2 場 所

広島市中区基町 6 - 78

「リーガロイヤルホテル広島」

3 出席者

連合会：石井邦夫会長、國中賢吉名誉会長、仁井正夫専務理事

岡山県：藏本忠男会長、岡本靖磨呂副会長、横田一夫副会長、安藤勤専務理事兼事務局長

広島県：川本義勝会長、長瀬充良副会長、田中英雄副会長、小川勲副会長、三谷哲也副会長、高橋俊宏専務理事

山口県：吉本勝利会長、榎本隆博副会長、真鍋啓介副会長、藤田稔専務理事兼事務局長

島根県：福代明正会長、尾崎正人専務理事

鳥取県：越生昭徳会長、伊藤源蔵専務理事兼事務局長

4 議 事

中国地域協議会総会の開催にあたり、幹事県である広島県協会会長・川本勝義氏が挨拶、続いて、



来賓として全国産業廃棄物連合会会長・石井邦夫氏が挨拶した後、年度最初の協議会であるため、出席者全員が自己紹介を行った。

その後、「廃棄物処理法の一部改正等について」と題して、全国産業廃棄物連合会・仁井専務理事から今年5月に公布された廃棄物処理法の改正について詳しい説明を受けた。

そして、地域協議会の規定により川本会長が議長を務めることとなり、次の議題について議事が進行された。

- (1) 平成21年度事業報告承認の件及び平成21年度収支決算報告承認の件
原案どおり承認された。
- (2) 平成22年度事業計画（案）承認の件及び平成22年度収支予算（案）承認の件
原案どおり承認された。
- (3) 各県提出議題について



- ア 公益・一般社団法人への取組について各県の進捗状況について（山口県協会）
- イ 安全衛生に関する各県協会の取組について（岡山県協会）
- ウ 緑十字賞候補の推薦について（広島県協会）
- エ 産業廃棄物最終処分場の維持管理に係る講習会の開催について（広島県協会）

各県からの提案理由の説明並びに質疑応答の後、石井連合会会長及び仁井連合会専務理事か



ら関係事項について指導・助言を受けた。

- (4) 継続議題等について
 - ア 全産連表彰の中国地域協議会の推薦枠の増員について
 - イ 県外産業廃棄物の県内搬入協議に係る問題点等について
 - ウ RPF及びその他のリサイクル製品の情報に係る各県協会のHPの整備と中国地域のネットワークの構築について

上記議題は平成21年度からの継続議題であるが、これら課題は各県の事情が異なること、交渉相手があること等により早急な解決は困難なことから今後も協議することとなった。

以上をもって議事は全て終了したので、吉本副会長（山口県協会）の挨拶で閉会した。



平成22年度 許可申請に関する講習会予定表 (近県抜粋)

●新規許可講習会

◇産業廃棄物の収集・運搬課程

講習期間 2日間 受講料 ¥ 30,400

開催地	開催日	定員	申込先
高知	平成22年9月2日(木)～9月3日(金)	150	(社)高知県産業廃棄物協会 TEL: 088-872-5056
大阪	平成22年9月28日(火)～9月29日(水)	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL: 06-6943-4016
京都	平成22年10月28日(木)～10月29日(金)	150	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL: 075-694-3402
兵庫	平成22年11月9日(火)～11月10日(水)	150	(社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL: 078-371-3177
岡山	平成22年11月10日(水)～11月11日(木)	150	(社)岡山県産業廃棄物協会 TEL: 086-254-9383
愛媛	平成22年11月16日(火)～11月17日(水)	150	(社)愛媛県産業廃棄物協会 TEL: 089-986-3450
広島	平成22年12月14日(火)～12月15日(水)	140	(社)広島県産業廃棄物協会 TEL: 082-247-8499
大阪	平成22年12月21日(火)～12月22日(水)	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL: 06-6943-4016
徳島	平成23年2月1日(火)～2月2日(水)	150	(社)徳島県産業廃棄物処理協会 TEL: 088-626-1381
兵庫	平成23年2月8日(火)～2月9日(水)	150	(社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL: 078-371-3177
京都	平成23年2月16日(水)～2月17日(木)	150	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL: 075-694-3402
大阪	平成23年3月16日(水)～3月17日(木)	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL: 06-6943-4016

◇産業廃棄物の処分課程

講習期間 4日間 受講料 ¥ 48,300

開催地	開催日	定員	申込先
愛媛	平成22年9月14日(火)～9月17日(金)	130	(社)愛媛県産業廃棄物協会 TEL: 089-986-3450
岡山	平成22年10月19日(火)～10月22日(金)	150	(社)岡山県産業廃棄物協会 TEL: 086-254-9383
京都	平成23年3月8日(火)～3月11日(金)	100	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL: 075-694-3402

※収集・運搬課程を同時受講することができます。

(両課程受講料 ¥ 70,800)

◇特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

講習期間 3日間 受講料 ¥ 46,200

開催地	開催日	定員	申込先
兵庫	平成22年10月5日(火)～10月7日(木)	100	(社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL: 078-371-3177
大阪	平成23年2月23日(水)～2月25日(金)	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL: 06-6943-4016

◇特別管理産業廃棄物の処分課程

講習期間 5日間 受講料 ¥ 68,000

開催地	開催日	定員	申込先
広島	平成22年9月27日(月)～10月1日(金)	100	(社)広島県産業廃棄物協会 TEL: 082-247-8499
大阪	平成22年10月18日(月)～10月22日(金)	100	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL: 06-6943-4016

※収集・運搬課程を同時受講することができます。

(両課程受講料 ¥ 102,700)

●更新許可講習会

◇産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

講習期間 1 日間 受講料 ￥ 20,000

開催地	開催日	定員	申込先
愛媛	平成22年 9 月 2 日 (木)	150	(社)愛媛県産業廃棄物協会 TEL : 089-986-3450
兵庫	平成22年 9 月 7 日 (火)	150	(社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL : 078-371-3177
京都	平成22年 9 月 9 日 (木)	150	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL : 075-694-3402
山口	平成22年10月 5 日 (火)	140	(社)山口県産業廃棄物協会 TEL : 083-928-1938
広島	平成22年11月 5 日 (金)	140	(社)広島県産業廃棄物協会 TEL : 082-247-8499
京都	平成22年12月 2 日 (木)	150	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL : 075-694-3402
兵庫	平成22年12月14日 (火)	150	(社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL : 078-371-3177
香川	平成22年12月16日 (木)	150	(社)香川県産業廃棄物協会 TEL : 087-847-8400
大阪	平成23年 1 月20日 (木)	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL : 06-6943-4016
岡山	平成23年 2 月 3 日 (木)	150	(社)岡山県産業廃棄物協会 TEL : 086-254-9383
広島	平成23年 2 月18日 (金)	140	(社)広島県産業廃棄物協会 TEL : 082-247-8499

◇産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の処分課程

講習期間 2 日間 受講料 ￥ 25,200

開催地	開催日	定員	申込先
岡山	平成22年 9 月 7 日 (火) ~ 9 月 8 日 (水)	100	(社)岡山県産業廃棄物協会 TEL : 086-254-9383
大阪	平成22年10月26日 (火) ~ 10月27日 (水)	100	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL : 06-6943-4016
山口	平成22年12月 7 日 (火) ~ 12月 8 日 (水)	100	(社)山口県産業廃棄物協会 TEL : 083-928-1938
京都	平成23年 1 月25日 (火) ~ 1 月26日 (水)	100	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL : 075-694-3402

※収集・運搬課程を同時受講することができます。

(両課程受講料 ￥ 40,600)

●特別管理産業廃棄物管理責任者講習会

講習期間 1 日間 受講料 ￥ 12,000

開催地	開催日	定員	申込先
愛媛	平成22年 9 月 3 日 (金)	150	(社)愛媛県産業廃棄物協会 TEL : 089-986-3450
兵庫	平成22年 9 月 8 日 (水)	150	(社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL : 078-371-3177
京都	平成22年 9 月10日 (金)	150	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL : 075-694-3402
山口	平成22年10月 6 日 (水)	140	(社)山口県産業廃棄物協会 TEL : 083-928-1938
広島	平成22年10月20日 (水)	140	(社)広島県産業廃棄物協会 TEL : 082-247-8499
大阪	平成22年10月28日 (木)	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL : 06-6943-4016
岡山	平成22年11月12日 (金)	150	(社)岡山県産業廃棄物協会 TEL : 086-254-9383
大阪	平成22年11月30日 (火)	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL : 06-6943-4016



京 都	平成22年12月 3 日 (金)	150	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL : 075-694-3402
兵 庫	平成22年12月15日 (水)	150	(社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL : 078-371-3177
香 川	平成22年12月15日 (水)	150	(社)香川県産業廃棄物協会 TEL : 087-847-8400
広 島	平成23年 1 月18日 (火)	140	(社)広島県産業廃棄物協会 TEL : 082-247-8499
大 阪	平成23年 1 月21日 (金)	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL : 06-6943-4016
岡 山	平成23年 2 月 4日 (金)	150	(社)岡山県産業廃棄物協会 TEL : 086-254-9383
兵 庫	平成23年 2 月10日 (木)	150	(社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL : 078-371-3177
京 都	平成23年 2 月18日 (金)	150	(社)京都府産業廃棄物協会 TEL : 075-694-3402
大 阪	平成23年 3 月18日 (金)	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL : 06-6943-4016

●医療関係機関対象特別管理産業廃棄物管理責任者講習会

講習期間 1 日間 受講料 ￥ 12,000

開催地	開 催 日	定員	申 込 先
愛 媛	平成22年 9 月 7 日 (火)	150	(社)愛媛県産業廃棄物協会 TEL : 089-986-3450
大 阪	平成22年 9 月30日 (木)	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL : 06-6943-4016
山 口	平成22年10月21日 (木)	150	(社)山口県産業廃棄物協会 TEL : 083-928-1938
岡 山	平成22年11月30日 (火)	150	(社)岡山県産業廃棄物協会 TEL : 086-254-9383
兵 庫	平成23年12月 5 日 (日)	150	(社)兵庫県産業廃棄物協会 TEL : 078-371-3177
徳 島	平成23年 2 月13日 (日)	150	(社)徳島県産業廃棄物処理協会 TEL : 088-626-1381
大 阪	平成23年 2 月22日 (火)	150	(社)大阪府産業廃棄物協会 TEL : 06-6943-4016

協会への入会勧誘のお願い

当岡山県産業廃棄物協会は、創設以来、産業廃棄物処理業者等の相互連携のもとに、産業廃棄物の適正な処理及び再生利用等についての調査・研究・研修・指導・情報提供等幅広い事業を実施することにより、産業廃棄物の適正な処理を推進し、産業の健全な発展に寄与するとともに、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に大きな役割を果たしています。

産業廃棄物処理業界が健全な業界として発展していくためには、業界の方々が結束することにより、組織をより強固なものにして、共存発展することが肝要であります。

協会員の増強については、協会及び関係機関において日頃、勧誘を行っているところではありますが、社団法人として組織率は、未だ十分とはいえないのが現状であります。少数よりも多数組織の拡充強化が、社会的にも発言力が強力なものとなり、説得力も増大し、業界発展の基礎になります。

1社でも多くの方が協会に入会されますことが、更なる発展を期するための、必要な条件であります。

会員の皆様におかれましては、未加入処理業者へは正会員として、また、取引先の排出事業者には賛助会員として、是非ご入会の勧誘をお願いいたします。

〔入会金及び会費〕

	正 会 員			賛 助 会 員
	収 集 運 搬 業		中 間 処 理 業 最 終 処 分 業	
	(車両2台以下)	(車両3台以上)		
入 会 金	30,000円	60,000円	60,000円	30,000円
会 費	月額：4,000円	月額：6,000円	月額：10,000円	年額：50,000円

〔入会方法〕

入会には入会申込書及び業の許可書のコピーを提出していただくこととなっていますので、下記協会事務所へ電話などでご連絡いただければ、入会申込用紙をお送りいたします。

社団法人 岡山県産業廃棄物協会

〒701-1152 岡山市北区津高 628-6
 T E L 0 8 6 - 2 5 4 - 9 3 8 3
 F A X 0 8 6 - 2 5 4 - 8 7 6 6

紹介 新規入会正会員

(株) **みつもとくみ**
密本組

代表取締役 **みつもと**
密本 宗太

<収集運搬>
〒712-8023 倉敷市水島南緑町12番11号
TEL. 086-448-8452 FAX. 086-448-5632 [所属支部：倉敷南]

(有) **おおくらどほく**
大倉土木

代表取締役 **おおくら**
大倉 節三

<収集運搬>
〒701-0204 岡山市南区大福384
TEL. 086-282-2456 FAX. 086-281-2937 [所属支部：岡山中央]

(有) **みふねけんざい**
御船建材

代表取締役 **みふね**
御船 光弘

<収集運搬>
〒701-1462 岡山市北区大井1840番地の2
TEL. 086-295-2487 FAX. 086-295-2485 [所属支部：岡山中央]

せい き とう きゅう こう ぎょう
世紀東急工業(株)

代表取締役 **こ であ**
小寺 浩

<中間処理>
〒105-8509 東京都港区芝公園二丁目九番三号
TEL. 03-3434-3345 FAX. 03-5402-6865
【事務連絡先】〒710-0035 倉敷市黒石113-15
TEL. 086-435-0109 FAX. 086-435-0119 [所属支部：倉敷]

(有) **アクアコーポレーション**

代表取締役 **にしやま**
西山 太一郎

<収集運搬>
〒711-0911 倉敷市児島小川6-1-10
TEL. 086-474-0015 FAX. 086-472-4969 [所属支部：倉敷南]

(株) **みなとどけん**
港土建

代表取締役 **たけ やり**
竹 鎗 昭子

<収集運搬>
〒703-8266 岡山市中区湊215-1
TEL. 086-277-7173 FAX. 086-276-9168 [所属支部：岡山東]

ベイロード(有)

代表取締役 **たけ やり よし やす**
竹 鎗 由 恭

<収集運搬>
〒703-8266 岡山市中区湊301-13
TEL. 086-277-2152 FAX. 086-274-2321 [所属支部：岡山東]

タカタニ運輸機工(有)

代表取締役 **たか たに けい じ**
高 谷 啓 治

<収集運搬>
〒711-0914 倉敷市児島味野城1-1589
TEL. 086-473-7880 FAX. 086-473-7885 [所属支部：倉敷南]

さかたけんせつ(株)
坂田建設

代表取締役 **さか た けん じ**
坂田 憲 治

<収集運搬>
〒708-0845 津山市日上155
TEL. 0868-26-1554 FAX. 0868-26-1731 [所属支部：津山]

おかやまこうゆ(株)
岡山砒油

代表取締役 **やま もと まこと**
山本 誠

<中間処理>
〒702-8045 岡山市南区海岸通二丁目3番6
TEL. 086-264-6866 FAX. 086-264-6867 [所属支部：岡山西]

(株) **ちゅうびさんぎょう**
中備産業

代表取締役 **さな だ し**
真田 里志

<収集・運搬>
〒712-8051 倉敷市中畝7丁目10番15号
TEL. 086-455-0001 FAX. 086-455-0400 [所属支部：倉敷]

(有) **りくせいかいはつ**
陸正開発

代表取締役 **おお ぐま のり たか**
大熊 伯 宜

<収集・運搬>
〒712-8012 倉敷市連島一丁目17番19号
TEL. 086-444-1127 FAX. 086-444-7225 [所属支部：倉敷南]

(有) **やぐみうんゆ**
彌組運輸

代表取締役 **もり おか えい いち**
森 岡 栄 一

<収集・運搬>
〒709-0862 岡山市東区瀬戸町笹岡1279-3
TEL. 086-952-0800 FAX. 086-952-3266 [所属支部：東備]

とうあけんせつこうぎょう(株)
東亜建設工業

代表取締役 **まつ お まさ おみ**
松 尾 正 臣

<収集・運搬>
〒163-1031 東京都新宿区西新宿3丁目7-1
TEL. 03-6757-3800 FAX. 03-6757-3830
【事務連絡先】岡山営業所 〒712-8027 倉敷市水島北瑞穂町13-24
TEL. 086-440-1711 FAX. 086-440-1722 [所属支部：倉敷南]

全国青年部中国ブロック第7回通常総会



我々岡山県青年部会がホスト役をつとめた社団法人全国産業廃棄物連合会青年部協議会中国ブロック青年部協議会の第7回通常総会が、平成22年7月9日（金）に岡山市の岡山プラザホテルで開催されました。

出席者数は、総計54名でした。

総会は、岡山県青年部会藏本副部会長の司会で、岡山県青年部会・木下部会長が開会宣言、中国ブロック青年部・上村会長の挨拶から始まり、来賓の岡山県環境文化循環型社会推進課・村木課長、当協会・藏本会長より祝辞を頂戴し、広島県青年部・金島会長を議長に選任し、議事に入りました。



- ・第1号議案（平成21年度事業報告承認の件）
- ・第2号議案（平成21年度収支計算書承認の件）
- ・第3号議案（平成22年度事業計画（案）承認の件）
- ・第4号議案（平成22年度収支予算（案）承認の件）

- ・第5号議案（会則改正（案）承認の件）
- ・第6号議案（役員改選（案）承認の件）

が審議され原案のとおり承認され、山口県青年部の山原一紀氏を新たに幹事に選出し、岡山県青年部会・木下部会長の閉会宣言で無事総会は終了しました。

その後、各会員の資質向上につながるよう、「産業廃棄物の適正処理について」と題したシンポジウムを開催しました。参加者に産業廃棄物の適正処理を再認識していただける場となり、有意義なシンポジウムとなりました。

続いて、懇親会にうつり、岡山県青年部会・木下部会長、当協会・岡本副会長が挨拶を行い、鳥取県青年部・三輪会長の乾杯の挨拶で和やかな歓談が始まりました。

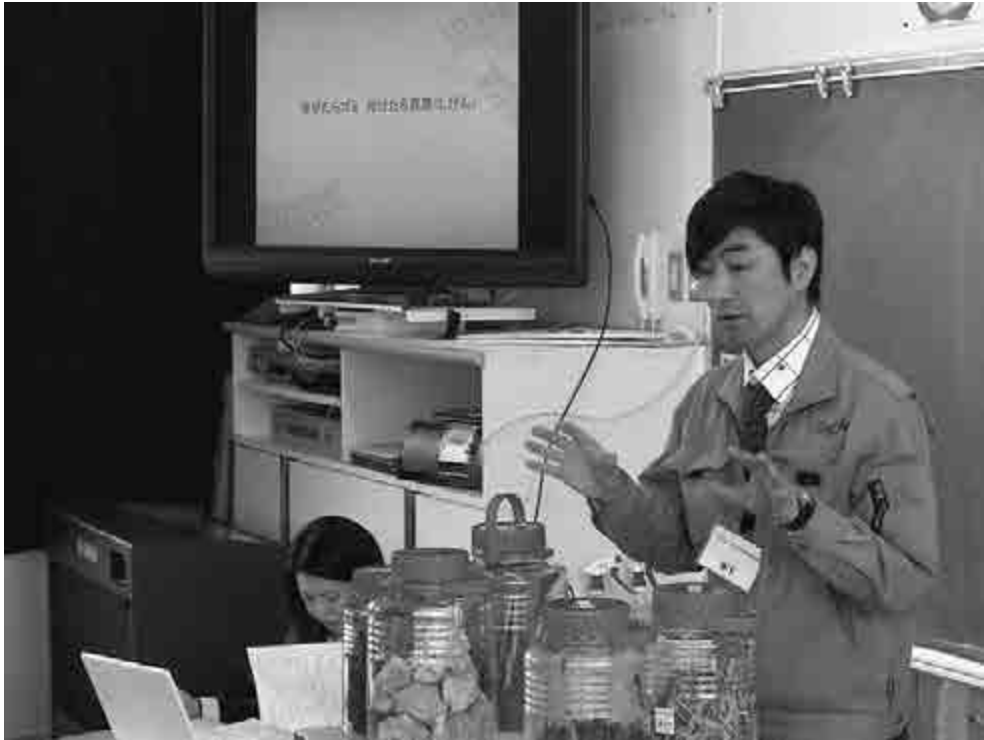


宴もたけなわとなったところで、我々岡山県青年部会がお招きした“うらじゃ踊り”で“誉”を受賞された踊り連“鬼ごろし”の皆様の華麗な演舞をご披露いたしました。いまや岡山の夏祭りのメインイベントとなった“うらじゃ踊り”を皆様に堪能していただきました。またアトラクションとして我々岡山県青年部会で企画した「ビール銘柄あて」「サッカー・チャレンジゲーム」も大好評で、和気あいあい、にこやかなひと時をすごしていただきました。

総会は成功裡に終わり、ホスト役の大任が果たせて、関係者全員胸をなでおろしました。

青年部会
環境学習活動

荏原小学校で勉強会



(社)岡山県産業廃棄物協会青年部会では、平成22年4月26日（月）部会員数名が井原市立荏原小学校を訪問し、4年生32名を対象として産業廃棄物とリサイクルに関する勉強会を行いました。

話に少しでも興味を持ってもらい理解してもらえるよう、廃棄物を瓶詰めにしたものやリサイクルした製品のサンプルなどを教室に持ち込み、実際に手にとって見てもらいながら授業を行い、理解してもらえるよう工夫を凝らしました。

子供たちは熱心に話を聞くとともに、積極的な

態度で質問してくるなど、我々が考える以上に環境問題に関心を持っており、理解度の面でもなかなかのものがあるように感じられました。

私たちは、産業廃棄物とリサイクル・地球環境の問題について知ってもらうために、よりたくさん小学校を訪問して子供たちにこの授業を聞いてほしいと思っております。今後は一人でも多くの児童と接することができるよう活動の場を広げ、産業廃棄物とリサイクル問題について、子供たちに伝えていきたいと思っております。



第5回親子エコツアー



青年部会では今年も、“親子エコツアー”を企画しました。定員90名ということで参加者を募集したところ、たくさんの方々に応募をいただき、スタッフ一同、うれしい悲鳴を上げることになりました。

実施日は夏休みも終わりに近い8月21日(土)、昨年に続いて「パナソニックエコテクノロジーセンターでの家電リサイクル工場見学」と「三木ホースランドパークでの環境学習会」をセットとし、2つのグループに分けて日程を組みました。

兵庫県加東市にあるパナソニックエコテクノロジーセンターは、初めから家電リサイクルを目的として作られた国内最先端の施設ですが、不要になった家電製品がどのようにしてリサイク

ルされるのか、親子そろって興味深く見学していただけたようでした。

一方、三木ホースランドパークでの環境学習では木下部会長が自ら講師役を務め、例年よりさらに充実した内容のプレゼンテーションがユーモア





たっぷりに行われました。余興のマジックショーもプロの域?に達し、スペシャルゲストとして出演の「〇んちマン」と共に会場を沸かせていました。

説明に熱心に耳を傾け、真剣な眼差しで見学される皆さんの姿は、私たちに新たな活力を与えてくれました。そして、子供たちが、産業廃棄物、リサイクル、地球環境の問題についてもっと関心をもちながら、生活を過ごしてもらえたらと思います。

これからますます環境問題が世界的に広がりを見せる中、この問題に対する我々一人ひとりの役割はますます重要になっています。若い力を集めて、そういう子供たちを一人でも増やせるようにさらに積極的に活動していきたいと思います。



CO₂ マイナスプロジェクト



用した電動バイクは Terra Motors 株式会社製の TASSO で、製造場所は中国浙江省 最終工程は日本とのこと。車両本体は税込みで 180,600 円です。

詳しくは以下のアドレスまで

CO₂ マイナスプロジェクト：

<http://www.co2-project.jp/>

電動バイク (TASSO)：

<http://www.terramotors.co.jp>

昨年の 11 月 19 日、全国産業廃棄物連合（以下全産連）による CO₂ マイナスプロジェクトがキックオフしました。

このプロジェクトは、全産連の重点取組事項の一つである「地球温暖化対策のための環境自主行動計画の推進」即ち、2010 年度における温室効果ガス排出量を基準年度の 2000 年度と同程度（±0%）に抑制することを目標とした計画の達成推進を目的とし、全産連正会員の会員企業の内 1992 社がエントリーし、それぞれ各社が CO₂ 削減に向けた取り組みを実施し、今年の 11 月 23 日に横浜で開催される青年部協議会第 7 回全国大会で各社の CO₂ 削減の成果を発表、表彰するものです。本プロジェクトの普及啓発の一つとして、「電動スクーター全国キャラバン」を行っています。これはスクーターに使う電力としてグリーン電力証書を購入し、全国各地を行脚し、業界の取り組みの PR を図っています。6 月 8 日に広島県青年部から電動スクーターの引き取りを行い、岡山県内の倉敷美観地区、後楽園でキャラバンを行い、蒜山高原にて鳥取県青年部に引き渡しを行いました。なお今回使





井倉峡及び高梁川上流国立自然公園の中央に位置しており、新見市の観光の名所として知られています。一般に絹掛の滝と呼ばれているのは3段のうち最下段のおよそ50mの部分です。

平素は岸壁に白く絹糸を垂らしたような優雅な滝に見えることから「絹掛の滝」と呼ばれています。

—新見市ホームページより抜粋

編集後記

最近よく「リスクマネジメント」という言葉を頻繁に聞くようになりました。文字通り、事業に係るリスクを分析し管理制御するということです。たとえば「時代や環境の変化」も大きなリスクといえるでしょう。政権交代もその一つと言えます。そして我々の業界や社内に目を向けた時、様々なリスクが存在していることも確かです。「経営陣そのものがリスクだ！」なんてことを言われないう、筆者も汗をかきながら頑張っている今日この頃です。

2010/08/03

T. M

会報・クリーン岡山 第42号

平成22年9月1日 発行

発行 社団法人 岡山県産業廃棄物協会

〒701-1152 岡山市北区津高628-6

TEL 086-254-9383 FAX 086-254-8766

編集 総務広報委員会

印刷 萌友出版

日本エクスラン工業(株)西大寺工場
環境リサイクルセンター

産業廃棄物の中間処理（焼却）

ISO14001 認証取得

〒704-8510

岡山市東区金岡東町三丁目3番1号

URL <http://www.exlan.co.jp>

Tel 086-942-9840(事務所)
086-942-9895(現場事務所)

FAX 086-942-9850(事務所)
086-943-1801(現場事務所)



焼却処理許可品目

産業廃棄物（12種類）

汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、
紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムく
ず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれ
きを除く）・陶磁器くず

特別管理産業廃棄物（3種類）

燃焼しやすい廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ



inoue



・一般廃棄物収集運搬
・産業廃棄物収集運搬
・排水管つまり抜き
・設備清掃及び設備管理

有限 井上 設備 会社

●本社

〒702-8024 岡山市浦安南町584-3
TEL086-283-8745 FAX086-283-8464

藤田営業所
〒701-0221 岡山市藤田2263-6

倉敷営業所
〒710-0133 倉敷市藤戸町藤戸1498-2



ISO14001:2004/JISQ14001:2004
当社は●のサイト及び業務について
ISO14001認証取得しています。



Clean & Recycle

私たちは地域の未来に、真剣です。

ISO 14001
認証取得



株式
会社

西日本アチューマツトクリーン

代表取締役社長 **藏本 忠男**

事業範囲

●産業廃棄物処理業

収集・運搬
中間処理(脱水・選別・焼却・固形燃料製造)
最終処分(管理型・特別管理)

●一般貨物自動車運送事業

●リサイクル事業

建設汚泥の再資源化
汚泥処理土製造 再生砂・再生砕石 製造

●レンタル・リース事業

選別機(トロンメルふるい機)・脱水機

●高プラスチック類・木くず・紙くず・繊維くずの再資源化

●建設業

液状工事・土木工事・とび土木工事

本 社 〒703-8245 岡山市中区藤原50-1
TEL(086)272-8042 FAX(086)271-1050
URL <http://www.e-nac.co.jp>
E-mail nac@e-nac.co.jp

倉敷営業所 〒712-8044 倉敷市東保5-17-58
TEL・FAX(086)456-4433
買戻処分場 〒701-0206 岡山市南区真備字小松原3678番
TEL・FAX(086)292-4647

赤穂工場 〒701-2225 岡山県赤穂市山口32131-4
TEL(086)957-4919
FAX(086)957-4922

横山商事株式会社

〒701-3202 岡山県備前市日生町寒河2559番地
電 話 (0869) 72-1301番
FAX (0869) 72-1305番

■赤穂営業所 兵庫県赤穂市福浦2687
電 話 (0791) 43-0492番



環境 を考える

産業廃棄物の処理・処分を適正に行い、循環型社会形成のために
リサイクルの推進を行ってまいります。



倉敷企業 合資会社

倉敷市 許可番号 第10040002863号

- ・ 本 社 : 倉敷市中央1-6-24 ☎ (086) 424-6429
- ・ 弥高山事業所 : 倉敷市玉島服部3318-2 ☎ (086) 525-8515
- ・ 黒石事業所 : 倉敷市黒石1052 ☎ (086) 426-1379
- ・ 大平山リサイクルセンター : 倉敷市連島町西之浦4566-1 ☎ (086) 448-8224



廃棄物の環境リスクから御社のブランドを守ります。

DOWA



エコシステム山陽は、西日本有数の焼却設備を有し、さまざまな産業廃棄物の安全・適正な処理によりお客様に安心をお約束します。

■廃棄物についてのお問い合わせは
エコシステムジャパンまで
ご用命下さい。

●処理営業品目●

【産業廃棄物】

汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、燃えかから、ばいじん、動植物性残渣

【特別管理産業廃棄物】

廃油、廃酸、廃アルカリ、特定有害産業廃棄物（セレン、PCB、廃石棉等除く全て）、感染性廃棄物

2009年6月 水銀廃棄物許可取得しました。

【フロン類】

CFC、HCFC、HFC

[中間処理]

エコシステム山陽株式会社

〒708-1523 岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1125
TEL.0868-62-1346 FAX.0868-62-1345

[収集・運搬・営業]

エコシステムジャパン株式会社 岡山営業所

〒708-1523 岡山県久米郡美咲町吉ヶ原1048-2
TEL.0868-62-1341 FAX.0868-62-1330



財団法人 岡山県環境保全事業団

財団法人岡山県環境保全事業団は、廃棄物処理処分事業を中心に、廃棄物コンサルタント事業、岡山県循環資源総合情報支援センター事業など、環境保全のための各種事業を幅広く実施し、快適な地域社会の実現に貢献しています。

廃棄物・
循環資源
事業

環境調査
事業

環境緑化
事業

環境保全
事業

〒701-0212 岡山市南区内尾 665-1
TEL:086-298-2122 FAX:086-298-2496
<http://www.kankyo.or.jp>

美しいこの国
悠久の地球

■ JPP 研究所 Japan Publication Planning
(出版企画制作/セミナー計画立案・情報・研究・開発)

■ 日本教育新聞社・岡山支局
(教育専門全国紙)

■ 山陽図書出版株式会社
(総合図書/教育教材出版・販売)

〒703-8245 岡山市藤原 47
TEL.086-271-8887 FAX.086-271-3414

Brilliant Future

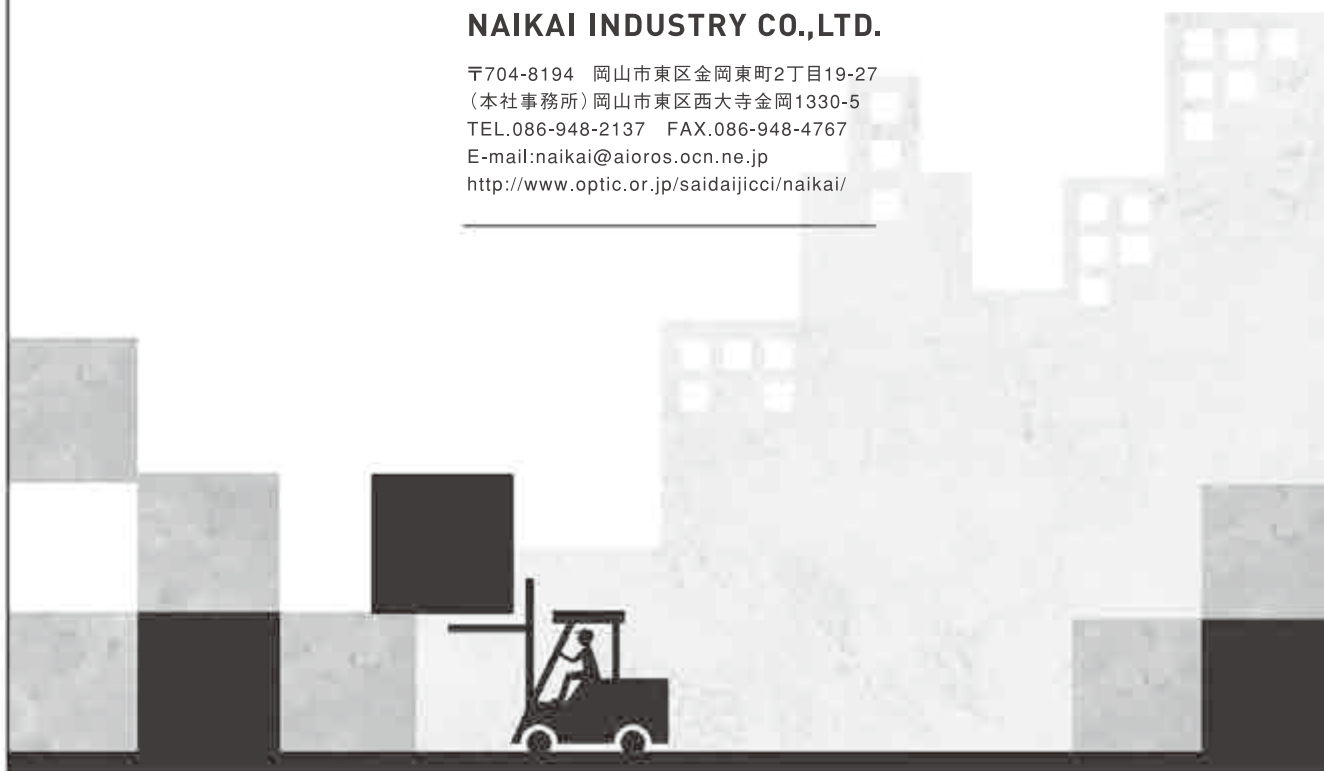
求めているのは、お客様の「安心」「信頼」そして「満足」。
長年にわたって培ってきた「技術」と「ノウハウ」で地域社会に貢献します。



地 域 社 会 に 貢 献 す る

内海産業株式会社
NAIKAI INDUSTRY CO.,LTD.

〒704-8194 岡山市東区金岡東町2丁目19-27
(本社事務所) 岡山市東区西大寺金岡1330-5
TEL.086-948-2137 FAX.086-948-4767
E-mail:naikai@aioros.ocn.ne.jp
<http://www.optic.or.jp/saidaijicci/naikai/>



安心の未来を
創り上げる

Kinoshita Group

 KINOSHITA GROUP

代表取締役 木下 聖士

株式会社 暁工業
新岡山陸運株式会社
寿警備保障(株)
新岡山開発株式会社
(株)エス・アール・シー
三愛興業株式会社
(株)ベンカンパニー
(有)浜本建設工業

岡山市中区江崎746番地の2
岡山市中区円山150番地